特別賞

お身体が不自由な方でも気軽に参加できるグラウンド・ゴルフ「あおぞら会」

あおぞら会

取組をはじめたきっかけは何ですか？

大田原市では、地域支援事業の1つに軽度の要介護認定者ができるだけ自立して生活できるように多職種で検討する「自立支援のための事例検討会」があります。この検討会で話し合われた事例がきっかけとなり、比較的若くして中途障害となった方が気軽に参加できるような活動が地域にないことがわかりました。

ないのであれば作れないかと考え、生活支援コーディネーターが中心となって企画を立案。

屋外活動で感染予防などの対策がとりやすいことなどから、気軽に参加でき、フレイル予防にも繋がるグラウンド・ゴルフの会（あおぞら会）を立ち上げることとなりました。

どんな取組を行っていますか？

病気や怪我などでハンデキャップがあり、これまで地域活動に参加できなかった方々が気軽に参加できるようなグラウンド・ゴルフの会を目指して活動をしています。

グラウンド・ゴルフは身体が不自由な方でもできる適度な運動です。参加者同士のコミュニケーションも活発に行われることから、フレイル（虚弱）や社会的孤立の予防、生きがいづくりに繋がることを期待しています。

ボランティアやサポーターが技術指導や記録の補助などを行うことで、初心者やハンデキャップのある方が参加しやすい環境を整えています。

取組を行う際のポイント

環境面では整備されたトイレと移動手段の確保が課題となりました。地域の社会福祉法人や関係機関の協力があったことで、和式トイレに据え置き式便座を設置するなどの整備ができ、デイサービス等の送迎に影響のない時間帯で送迎の支援をしていただけました。参加者の増加に伴い会場の変更が必要になりましたが、整備されたトイレの確保は難題となっています。

運営面では、住民ボランティアが快く支援してくれたことで道具などの必要物品も借りることができました。

ケアマネジャーやリハビリテーション専門職などにも協力していただき安定した運営ができています。

地域に必要と思われる取り組みも1つの機関だけでは難しいことが多い中、今回は様々な機関や団体の協力が得られたことがポイントだと思います。

これからの活動について

この活動が地域に認知されてきたことで、少しずつ参加者や協力してくれる方が増えてきています。現在は、車いすの方が利用できるトイレの確保が課題と

なっています。トイレが整備できれば車いすの方にも安心してご参加いただけるようになると思います。

今後も地域包括支援センターが事務局となり、関係機関・団体と協力することで持続的な取り組みにしていきたいと考えています。

準備運動

送迎

あおぞら会

◆対象地域　大田原市内全域

◆開催日時　毎月第4木曜日　＊変更の可能性あり
10:30～11:30

◆会　　場　(福)章佑会養護老人ホーム若草園 園庭
大田原市東地区公民館
大田原市水辺公園

◆内　　容　障がい者やフレイルの方が気軽に参加できるグラウンド・ゴルフ活動

◆ 参 加 費　1回100円(保険料等)

チラシ

活動の中で役割を得るなどして、参加される方の自立支援やフレイル予防の一助になれば幸いです。

この取り組みを通して住民ボランティアをはじめ、関係団体とのネットワークを構築することができました。様々な背景のある方が参加し、楽しんでプレーする姿がとても印象的です。このような活動に発展できたのも多くの方のご支援があったからこそと感じております。活動の中で役割を得るなどして、参加される方の自立支援やフレイル予防の一助になれば幸いです。

今後もグラウンド・ゴルフを通じた地域づくりに貢献できればと考えています。

あおぞら会事務局　大田原市中央地域包括支援センター

団体名 ｜ **あおぞら会**
所在地 ｜ 栃木県大田原市浅香3-3578-747
大田原市福祉センター内
(事務局)大田原市中央地域包括支援センター
代　表 ｜ 石下　真弓
事業内容 ｜ グラウンド・ゴルフを通じた地域づくり

評価のポイント

比較的若くして中途障害となった方が気軽に社会参加できる機会が少ないことに着目し、フレイル予防にも効果が期待できるグラウンド・ゴルフの会を立ち上げ、支援に取り組んでいるという点に関し、独自性が高いものとして評価されました。特に悲観的になりがちな中途障害となった方々の社会参加、生きがいづくりにつながるものであり、更なる活動の広がりが期待されます。